

寝屋川市第2期国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）  
寝屋川市第3期特定健康診査等実施計画【概要】（案）

1 計画策定の背景

本市では国保被保険者の糖尿病をはじめとした生活習慣病対策や重症化予防等の実施及び事業評価を行っています。

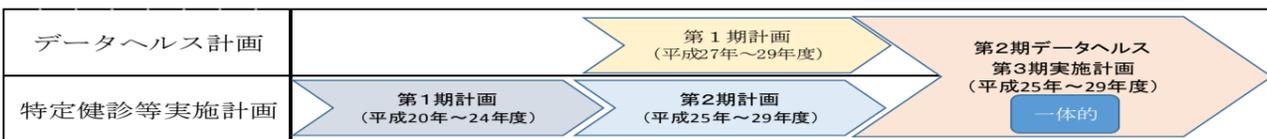
健診結果やレセプト情報を分析し、実情に応じた健康課題・目標を明確にした上で、効果的な保健事業を実施するため、本計画を策定し「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」の実現また「医療費の適正化」を目指します。

2 計画の位置づけ

今回策定する2つの計画は、本市国保被保険者が対象ですが、それぞれ法令根拠と対象年齢が異なります。

計画名	根拠法令等	対象年齢
データヘルス計画	国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針	0歳～74歳
特定健診等実施計画	高齢者の医療の確保に関する法律	40歳～74歳

3 計画期間

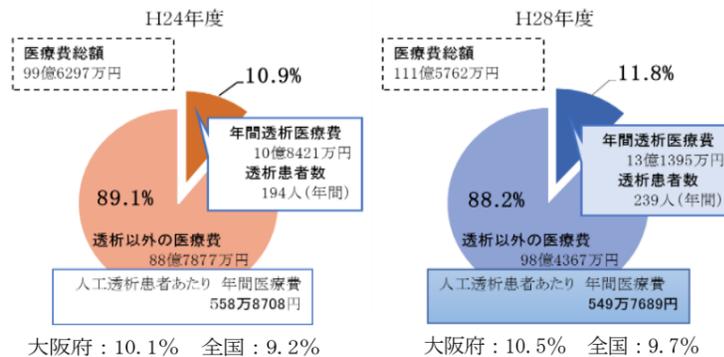


4 本市の状況 事業効果

現状

◇ 医療費総額に占める人工透析の割合

平成24年度から実施している生活習慣病発症予防・重症化予防事業により人工透析医療費の伸び率は抑えているため一定事業効果が出ていると考えられますが、依然大阪府や全国より高い状況です。



重症化予防事業効果

(1) 事業効果

糖尿病性腎症は放置すると急激な腎機能低下を招き、人工透析治療に至るが、適切な治療を受ければ透析治療を延伸することができます。

(平均580万円/年の医療費を削減できます)

※ 平成28年度：約1億5千万円の事業効果が見られました。

(2) 保健指導の効果の事例

保健指導を拒否した方は、腎機能低下の予測どおり人工透析治療となったが、保健指導後に生活習慣の改善と専門医で受診した方(ケース)は、透析治療を2年間延伸しています。



5 計画の構成

第1章 計画策定の背景

- 1 事業の目的と背景
- 2 他計画との関係
- 3 計画期間

第2章 寝屋川市第2期国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）

- 1 計画策定に向けた整理（第1期データヘルス計画の評価等）
  - 人工透析医療費が府・国と比較して多い
  - メタボリックシンドローム該当者および予備群率が、府・国より高い
- 2 保険者の現状（被保険者を取り巻く地理的・社会的背景）
  - 標準化死亡比では、腎不全による死亡が多い
- 3 医療費分析
  - 総医療費のうち33.4%が生活習慣病である
- 4 後発医薬品の利用状況
  - 府や国と比較して、高い利用率にある
- 5 特定健診実施状況
  - 若年層の受診者が少なく単年度受診が多い状況
- 6 特定保健指導実施状況
  - 利用率および実施率は、府より高く国より低い

健康課題

- 人工透析患者数・医療費が多い
- 虚血性心疾患・脳血管疾患の発症リスクが高い

重症化予防事業の継続

健康課題

- メタボ該当者が多い

特定保健指導の強化

健康課題

- 特定健診受診率の停滞

未受診者対策の強化

その他

第3章 寝屋川市第3期特定健康診査等実施計画

- 1 計画策定に向けた整理（第2期実施計画の評価等）
  - 健診受診者の75%が65歳以上
- 2 特定健診対象者の現状
  - 「腹囲」「血圧」「血糖」が高め
- 3 未受診者対策
  - 健診受診者と未受診者の1人あたりの生活習慣病医療費に差がある
- 4 第3期特定健康診査等実施計画における健康課題
  - 内臓脂肪型肥満、高血圧、高血糖等のリスク者が多い
- 5 特定保健指導実施計画（目標の設定）
  - 平成35年度までの目標：特定健診受診率、特定保健指導実施率ともに60%

その他

第4章 本市の重症化予防事業

- 1 基本的な考え方
- 2 これまでの取組みの評価
- 3 保健指導対象者の選定・介入方法
- 4 かかりつけ医や専門医との連携
- 5 今後の取組む方策 ～更なる展開に向けて～